

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 1 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 23 年 6 月 14 日 (火) 午後 7 時～午後 8 時 40 分
会場	大田区役所本庁舎 5 階 特別会議室
出席委員	15 名
配布資料	①第 8 期区民会議委員名簿 ②第 6 期大田区男女共同参画推進プラン ③第 7 期大田区男女平等推進区民会議委員活動報告書
議題	第 1 部 委嘱状伝達式 第 2 部 第 1 回男女平等推進区民会議 (1) 役員の選任について (2) 区民会議の活動内容について (3) 大田区の男女平等・男女共同参画について 大田区の男女共同参画推進のあゆみ 第 6 期大田区男女共同参画推進プランについて 第 7 期大田区男女平等推進区民会議委員活動報告書について (4) その他
会議概要	第 1 部 委嘱状伝達式 1 開会 2 委嘱状交付 3 区長あいさつ 4 区出席者紹介 5 委員自己紹介 6 閉会 第 2 部 第 1 回男女平等推進区民会議 (1) 役員の選任 (会長 1 副会長 2) 委員推薦により選出 会 長 有末委員 副会長 藤田委員 岡委員 (2) 区民会議の活動内容について ・推進プランは、本年 4 月に策定され、その推進状況の報告および検証は、来年度になる。今年度の活動は、各委員が男女平等に関する知識を深め、区の事業が男女平等とどのように関係しているのかを現場検証しながら、すすめていきたい。 ・会議は 6、7 回で、原則第 3 火曜日に開催したい。 ・中小企業と WLB の関係について実態を把握し、提言できることを目指したい。 ・介護、子育て、DV、外国人に関する事業についても、男女平等の切り口から事業をすすめていくという視点でもって、具体的な推進方法を提案したい。 ・区長、各課長との懇談も行っていきたい。 (3) 大田区の男女平等・男女共同参画について 大田区の男女共同参画推進のあゆみ

男女共同参画推進プランについて

第6期区民会議委員活動報告書について

(4) その他

- ・本庁舎男女共同参画パネル展 6/17 から 6/23
- ・男女共同参画週間 6/23 から 6/29
- ・エセナフォーラム 7/2 7/3
- ・次回の日程 平成23年7月19日(火) 午後6時30分

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 2 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 23 年 7 月 19 日 (火) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 50 分
会場	大田区役所本庁舎 9 階 901 会議室
出席委員	14 名
配布資料	①第 1 回区民会議議事録概要 (案) ②審議会における女性委員の参画状況 ③大田区職員育児休業等取得状況
議題	1 第 1 回区民会議議事録概要 (案) について 2 ワーク・ライフ・バランスについて (1) 中小企業におけるワーク・ライフ・バランス (2) 男性の育児とワーク・ライフ・バランス (3) エセナの活動と女性による企業参加 3 その他
会議概要	1 第 1 回区民会議議事録概要 (案) について ・了承 出席委員の氏名を掲載する。 2 ワーク・ライフ・バランスについて (1) 中小企業におけるワーク・ライフ・バランス ・大田区はものづくりのまちで家族的経営が多く、技術の継承が課題となっている。大企業における女性の活用は、CSR 活動のひとつであり、戦略でもある。 (2) 男性の育児とワーク・ライフ・バランス ・育児休業や休暇の取得に対する意識について、世代間で大きく違っている。 ・父親の子育てを支える環境づくりを変えるには、父親が変わり、家庭、地域、企業が変わり、その結果社会が変わってくる。行政は政策的に誘導してほしい。 (3) エセナの活動と女性による企業参加 ・男女共同参画推進プランにのっとり、講座、講演、学習、広場事業、展示等を行っている。 ・女性の再チャレンジへのしかけについて、まずは応援ナビ、次に復活ナビを経てハローワーク等へつなげていく。孤立しないことが大事である。 3 その他 ・女性委員数が 0 の審議会等について、来年以降女性の委員が増えるように検討すべきだ。 ・委員の選出区分において公募をとっている審議会の数が少ない。 ・区民参画イコール公募とはならないが、ある程度専門的知識をもっていないと公募は難しい。 ・保育園の待機児数と欠員数の関係は、入園希望における場所的なミスマッチで

ある。区は定員を増やすなど、保育環境の整備を進めている。

- ・ワーク・ライフ・バランスを取り巻く現状を理解し、具体的で実行可能なレベルでのアイデアを出していくことが必要だ。

- ・次回の日程 平成 23 年 8 月 23 日 (火) 午後 6 時 30 分

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 3 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 23 年 8 月 23 日 (火) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 40 分
会場	大田区役所本庁舎 9 階 902 会議室
出席委員	13 名
配布資料	①第 2 回区民会議議事録概要 (案)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 2 回区民会議議事録概要 (案) について 2 男女共同参画推進プランについて 3 ワーク・ライフ・バランスについて 4 その他
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 2 回区民会議議事録概要 (案) について <ul style="list-style-type: none"> ・了承 2 男女共同参画推進プランについて <ul style="list-style-type: none"> ・前期の活動は、各事業の担当課からの推進状況報告について、グループにわかれて検討し要望や問題点につきコメントを付した。すべての事業を対象としたため煩雑であり、次回以降は、重点プロジェクトについて評価をする。 3 ワーク・ライフ・バランスについて <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 大田区産業振興協会の管理グループ企画広報チームとヒアリングを行った。人やまちに優しい企業について「優工場」という大田区独自の企業表彰制度を設けている。高校生から参加可能なプレ就職面談会を設け、就職のマッチングを実施している。女性の再チャレンジについては、男性の雇用環境も含め厳しい状況である。 ・区の施策として、WLB に特化していくのか、既存の事業を盛り上げていくのか。たとえば企業に社会保険労務士を派遣することもひとつである。 ・他区では、WLB を推進している企業について認定し表彰したり、助成金を交付している。 ・中小企業を支援している産業振興課長との懇談をしてみたい。 ・企業の認定制度を実施する意義はあるが、初年度だけ取り組みを行って、継続的に行っていくか疑問が残る。 ・WLB の推進は、産業だけでなく、すみやすい・暮らしやすいまちづくりという観点もあるので、区の様々な部署の話を知りたい。 ・WLB について仕事の側、生活・地域の側と分けて検討する方法もある。気になる事業を探して、グループ分けて検討するのはどうか。 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・前期は、年度ごとに報告書を提出したが、第 8 期は、最終年に報告書を作成する。 ・旧推進プランに基づき実施した事業についての検証は、今年度行わない。今後検討する事項については、アウトプットや方向性、具体的検討項目を決める必要がある。 ・男女平等の拠点であるエセナが各種事業を実施しているので、男女平等推進事業

報告書をもとに大田区の現状を把握するのほひとつの方法である。

- ・各委員で興味のある分野や得意な分野があるので、グループ分けをしてはどうか
- ・単に提言をするということだけでなく、区が改善可能な形での具体的かつ実現の高い提言としたい。そのために今年度は、広く知識を習得したい。
- ・他区の取り組み調査や区間の交流会などから、大田区の特徴が明らかになり東京の流れがつかめる。各事業の推進状況結果がでる前に、意見がいえると効果的ではないか。
- ・いままで方向性がわからなかったが、今回の議論のなかで、やっと光がみえてきた。地域では、高齢者向けに電話での安否確認、簡単な手伝い、健康体操、サロン活動を実施している。
- ・地域の現状を調査して、生の意見を聞き、主管課へ提言でき、新しい施策が追加されると成果が見えてうれしい。
- ・商店街なら女性、中小企業なら制度、地域なら困っている人の現状を調査することから始めるのはどうだろう。
- ・エセナおおたでは、専業主婦を対象に働くきっかけづくりの講座を毎年実施している。また新規事業として、外国人向け講座開催に向け PT を立ち上げている。企業向けの講座は、いまのところ予定がない。
- ・男女平等や WLB を国際化や地域力とどのように結び付けていくか、方向性をみいだしたい。
- ・次回以降、DV 計画、国際化と外国人問題、高齢者・障害者福祉、地域力等のテーマも含めて議論したい。
- ・次回の日程 平成 23 年 9 月 27 日（火） 午後 6 時 30 分

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 4 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 23 年 9 月 27 日（火） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 20 分
会場	大田区役所本庁舎 9 階 902 会議室
出席委員	10 名
配布資料	① 第 3 回区民会議議事録概要（案） ② 大田区指定管理者モニタリング評価シート
議題	1 第 3 回区民会議議事録概要（案）について 2 平成 22 年度指定管理者モニタリングについて 3 エスニシティと多文化共生について 4 その他
会議概要	<p>1 第 3 回区民会議議事録概要（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了承 <p>2 平成 22 年度指定管理者モニタリングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エセナおおたは、大田区における男女共同参画を推進する拠点の施設で、指定管理者制度をとっており、その評価を委員内で共有化したい。 ・区内の指定管理者制度を利用している 102 施設について、利用者満足度調査、指定管理者によるセルフモニタリング、所管担当課によるモニタリングを行いその結果、エセナおおたは顕著に優れている A 評価となっている。 <p>3 エスニシティと多文化共生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人からカタコトの中にも積極的に働きかけがあるが、こちら側が応えられていないもどかしさがある。 ・教育の分野では、学童クラブや通級学級などで外国人を積極的に受け入れている。また、ボランティアで学級便りの翻訳や同国籍のピアグループなどストレス軽減に役立っている。区も国際化を進めているが、閉じこもりがちな外国人への対応が課題である。 ・日本人同士でも地域の人との関係が難しいなかで、言葉の壁もある外国人にとっては、より困難な面がある。 ・多文化共生推進センターでは、多言語に対する相談についてボランティアで行っている。講座参加や保育についても外国人が増えており、各国の子育て事情を知り交流を深めていくことで、日本における子ども中心の子育てに気づかされる。 ・委員は、積極的にエセナおおたでの講座に参加し、情報を発信するべき。 ・外国人への情報発信については、国際交流週間パンフレットのように 4 カ国の言語で作成されている。配布先については、学校や関連施設となっている。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員をグループに分けることについては、次年度以降にしたい。 ・次回は、10 月 25 日（火）に開催し、議題はダイバーシティについてとする。

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 5 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 23 年 10 月 25 日 (火) 午後 7 時～午後 8 時 45 分
会場	大田区役所本庁舎 9 階 902 会議室
出席委員	8 名
配布資料	① 第 4 回区民会議議事録概要 (案)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 4 回区民会議議事録概要 (案) について 2 ダイバーシテイ推進の現状と課題 3 その他
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 4 回区民会議議事録概要 (案) について <ul style="list-style-type: none"> ・了承 2 ダイバーシテイ推進の現状と課題について <ul style="list-style-type: none"> ・企業にとって、女性を管理職へ登用することが、株主評価につながる時代となっている。働く女性の 55%はパートや派遣であり、アシスタント業務や定例業務は、非正規職員へシフトしている。 ・震災以降、女性社員の退職は少なく、育児休業や育児時間の取得で現場が大変になっている。また、男性だけで業務を行っていた企業が、新卒の女性割合を上げたものの、期待ほどに育っていない。 ・子育てには、夫を巻きこんでイクメンにしていくことや、保育園、ファミリーサポートセンター、ベビーシッター等の支援体制が必要である。また、長時間労働を減らし、生産性を上げる努力が求められている。 ・女性が働くことに対して、年代により意識が異なっている。育児休業休中にベビーシッターを雇い、資格取得のため勉強しキャリアアップを図っているという外国人もいる ・多様な勤務形態として、在宅勤務やテレワークなど、まだまだ進んでいない。 ・トップの意識が重要で、成果主義のなか、仕事を抱え込み個人で仕事をするのではなくチームで仕事をすることによって、情報の共有化が図れ、職場雰囲気も良好になる。 ・日本は、子育て支援に係わる制度はあるが、外国は男女互いにキャリアを積んでいくという意識が強く、それにより収入も変わってくる。大田区におけるダイバーシテイについて、国際化、地域力、WLBとどのように関連するのか。 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 8 日にエセナおおたにて「みんなで知ろう 世界の子育て」事業を実施した。子育て中で孤立している主婦がいるが、国籍が違うとなおさら大変だ。これからも事業を継続していくことが必要だ。 ・次回は、11 月 22 日 (火) 802 会議室にて開催する。議題は、大田区におけるダイバーシテイ推進についての具体策 (管理職への女性の登用、地域での子育て、介護の仕組みづくり等) としたい。

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 6 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 23 年 11 月 22 日 (火) 午後 7 時～午後 9 時 10 分
会場	大田区役所本庁舎 8 階 802 会議室
出席委員	11 名
配布資料	① 第 5 回区民会議議事録概要 (案) ② 大田区政ファイル 平成 23 年度版 ③ 大田区政に関する世論調査 概要版
議題	1 第 5 回区民会議議事録概要 (案) について 2 ダイバーシティ推進の具体策について 3 その他
会議概要	<p>1 第 5 回区民会議議事録概要 (案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了承 <p>2 ダイバーシティ推進の具体策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立支援をする環境について、他の市町村と比較検討してみたい。ファミリーサポート、延長保育、病後児保育、ベビーシッター、保育ママなど保育に関連し、行政の範囲や仕組み等を調査したい。 ・女性が起業し地域で保育を可能にするような、例えば空き店舗を優先的に使用したり、保育園を併設したりすることは、できないだろうか。 ・日本の人口動態の波をみると、団塊の世代、団塊ジュニア世代、家庭に眠っている女性世代がある。女性が地域において、パートでなく短時間勤務の正社員として働くことが、今後の経済成長には欠かせない。 ・両立支援をする環境は、育児だけでなく介護についても重要である。介護休暇は 3 ヶ月であるが、その間に次の手配をするだけである。介護する人もされる人も増えており、多様化している。ワークシェアリングや介護の見える化が大事である。 ・行政、企業、個人の力をいかして、地域で助け合い運動をしている。老老介護で役員中心のボランティアで運営しているが、負担が増えてきて、継続するのも大変である。 ・保育園の入園希望において地域差があり、認証保育においては、私立は多様化し、区立は公平性が重要で単一化となっている。 ・商店街では、児童や高齢者に対し、声かけや見守りの実践をしている。 ・地域コミュニティは、地域によって出来ているところとそうでないところとある。マンションに管理組合はあるが、地元町会との結びつきは少ない。また、土地の細分化による一戸建ても増えてきているが、若い夫婦が中心で町会には、入らない。町会へ参加することのメリットや、各個人の意識が重要である。 ・地域コミュニティは、あらゆる課題につながっており、その衰退が顕著で、行政が援助をしてきっかけをつくっても、結果としては、長続きしない。 ・地域力推進のモデルケースとして、就労や空き店舗、保育や介護などを含めたトータルな枠組みを構築できないだろうか。

- ・町会は、地縁団体が発祥であり区からの行政指導は及ばない。18出張所は地域の核であり、地域情報誌を発行するなど関連する団体等への情報の発信基地となっている。
- ・商店街の中に、地域力推進の拠点として、トライアル、パイロット的に地域コミュニティの場を設けることは出来ないか。
- ・地域での仕組みづくりを継続するには、サービスを提供する側と受ける側が、モチベーションやスキルの維持が重要である。ピアサポートのように、仲間で助け合うことで、互いにサービスの精算ができ完結できる。同じ仲間を集めそれをコーディネートする人が重要となってくる。
- ・会議ででた意見を次年度以降どうするかについては、報告書の中に提言として盛り込む方法もある。

3 その他

- ・次回は、1月17日（火）午後6時30分から開催する。

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 7 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 24 年 1 月 17 日 (火) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 40 分
会場	大田区役所本庁舎 9 階 902 会議室
出席委員	9 名
配布資料	① 第 6 回区民会議議事録概要 (案) ② 配偶者からの暴力に悩んでいませんか ③ 配偶者からの暴力に関するデータ
議題	1 第 6 回区民会議議事録概要 (案) について 2 DV について 3 その他
会議概要	<p>1 第 6 回区民会議議事録概要 (案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了承 <p>2 DV について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV (ドメスティック・バイオレンス) について、その種類、特徴、子どもへの影響、支援体制、エセナおたでの取り組みについて説明を行った。今後の課題としては、関係機関との連携を進めていくことである。 ・DV と語り (ナラティブ) について、誰に何を語るか、ジェンダーと年齢、いつ語れるようになるか、ナラティブの形式、暴力なき社会に向けてについて説明を行った。 ・DV 相談件数は増加しているが、その属性、地域性など分析できる統計はないか。 ・DV 防止のためには、意識啓発の推進と予防のための教育が必要である。 ・DV は表に現れにくいことが多いので、事例を紹介するなど、小さなことから課題として取り組んでいくことが必要だ。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提言をまとめるにあたり、区長宛か区民向けか啓発イベントを実施するか、またグループ分けをし検討するのも方法である。 ・提言でなく意見とする方法もある。何か施策として実施されるとか、ある程度区が実施している施策が、もっと充実するとかになると、区民は幸せになる。 ・啓発イベントを何回も行い、区民を巻き込んでいくことで男女共同参画の意識も変わってくる。 ・区民が男女共同参画に関心を持ち参加できるしかけづくりができないだろうか。そのためのサークルや団体のデータを収集し調査をするのも方法である。 ・市区町村を医療、保育、公園などの項目からランキング付けをし、住みやすさ等を比較することで、議論がしやすくなる。 ・保育、介護、ワークライフバランス、DV など何に絞って提言をするのか次回以降で検討したい。 ・次回は、2 月 21 日 (火) 午後 6 時 30 分から開催する。

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 8 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 24 年 2 月 21 日 (火) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
会場	大田区役所本庁舎 8 階 802 会議室
出席委員	11 名
配布資料	① 第 7 回区民会議議事録概要 (案) ② 東京の男女平等参画データ 2011 (概要版)
議題	1 第 7 回区民会議議事録概要 (案) について 2 提言について 3 その他
会議概要	<p>1 第 7 回区民会議議事録概要 (案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了承 <p>2 提言について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関東圏の自治体の行政データを比較すると、大田区は人口増加数、単身世帯数割合、労働力人口数、小売店数、従業者数、図書館数で上位に位置している。 ・ おおた未来プラン 10 年には、女性の就労支援 (再チャレンジ等) を計画事業として掲載している。 ・ 女性が再就職した企業に助成金を交付するとか、企業の説明会を開催するとか女性の就労意欲の喚起が必要ではないか。職業紹介について他自治体ですでに実施しているところもあるようだ。 ・ 再チャレンジを阻む要因としては、夫の理解、子の保育先などがある。 ・ M 字カーブになるから問題なので、欧米では台形のまま推移している。出産を機に仕事を続けるかどうかの選択をするのでなく、出産しても働き続けるという意識の啓発が必要である。 ・ 大企業では、育児休業、短時間勤務制度などにより出産を機に退職する従業員は減少している。保育時間の延長が、働く人にとっては重要となっている。 ・ 大田区は中小企業が多く産業とからめて男女共同参画を進める支援の仕方がないだろうか。区内中小企業の実態調査やヒアリングなどを行うのはどうか。 ・ 大卒女性の就職率が 6 割だが、やりがいのない仕事につくよりは、豊かな生活をさせてくれる男性をみつけて結婚する道を選ぶ人も多い。共働きを最初は望んでいないが、そうしないと生活が成り立たない面もあるようだ。 ・ エセナフォーラムにおいてワークショップを開催することで、意識の啓発を行う方法もある。 ・ 延長保育、保育ママ、認証保育、ファミリーサポートなどの調査をして次回に報告したい。行政の役割分担も含め、地域力でその仕組みづくりができないか。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の会議は 6 月の予定なので、4、5 月は自主的に活動したい。 ・ 次回は、3 月 19 日 (月) 午後 6 時 30 分から開催する。

会 議 録

会議名称	平成 23 年度第 9 回男女平等推進区民会議
開催日時	平成 24 年 3 月 19 日（月） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 20 分
会場	大田区役所本庁舎 9 階 901 会議室
出席委員	10 名
配布資料	① 第 8 回区民会議議事録概要（案） ② 大田区への提言 ③ 女性の就労支援参考事例 ④ 大田区として中小企業に向けた実態調査の提案
議題	1 第 8 回区民会議議事録概要（案）について 2 女性の就労支援について 3 その他
会議概要	<p>1 第 8 回区民会議議事録概要（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 了承 <p>2 女性の就労支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在就労している人への支援として、待機児、延長保育、夜間保育の課題があり、近隣区との比較を行い、大田区の現状について報告を行った。 ・ 自治体の就労支援の事例として、横浜市、世田谷区を調査し報告を行った。 ・ 中小企業に向けた実態調査の提案として、福井県での企業子宝率の取り組みを参考に大田区での実施に向けての報告を行った。 ・ 横浜市では、ワークライフバランスに取り組んでいる企業、事業所等を横浜グッドバランス賞として表彰している。他区でも同様な制度があるが、応募する団体等を集めるのが大変なようである。 ・ 区内中小企業を対象として調査した場合、近隣自治体在住の従業員も多く、直接大田区での取り組み評価につながらない点もある。 ・ 提言として、具体的でなくても区民に男女平等の意義を広めたり、企業の意識改革に繋がることになれば、さらっとしたものでもいい。 ・ 調査を行い実態をあぶり出し、そこからのモデルを分析するなど、実際にやってみないと進まないのではないか。 ・ 調査をするには、その目的、収集方法、分析の結果をどう使用するかなど事前に検討しておくことが必要である。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は、4 月 24 日（火）午後 6 時 30 分からエセナおおたで開催する。